

科目	生理学実習	担当	渡邊 和子	履修学年	2年
時間数	90分×時限×24回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

生理学の知識を基盤として、生命活動におけるさまざまなしくみを自身を被検者とした応答や動物実験で確認し、その理解を深め、科学的思考を育成することを授業目標とする。受講者は実験器具・実験機器の扱い方の習得、実験目的を理解し、実験条件の設定、実験プロセスの理解と工夫、得られたデータの処理・解析法を修得し、実習した内容を的確にわかりやすくレポートとしてまとめられることを到達目標とする。

【履修注意】

原則として全回出席を必要とする。やむなく欠席する場合は、必ず事前連絡を入れること。実習では学生自身が被検者になるとともに、実験動物を取り扱う。本実習を通して生命の尊重、生物の適切な取り扱いの重要性、生命倫理についても十分に理解することが求められる。『百聞は一見にしかず』机上の勉強だけではわかりにくかったことも実習により『なるほど、そう言うことなのか』を実感し、理解が深まる。そのためには、実習前に実習項目の基礎知識の復習と予習は必須である。実習中は実験ノートを作成し、レポート作成に必要な事項を詳細に記録しておくこと。

【評価方法】

レポートおよび試験結果で評価する。

【試験について】

筆記試験を実施する。本試験で合格点に満たなかった場合は再試験を実施する。

再試験対象者の条件： 本試験で60点未満の者（本試験で20点未満の場合、再試験対象としないことがある）

【予習・復習】

履修注意に書いた様に、実習に望む前には十分な復習と予習が必須である。各項目における予習・復習時間は目安として60分/週を必要とする。実習書を読み、実習の段取りがイメージできるように周到な準備をしておくこと。

【教科書】

実習書を配布する。

【参考書】

教科書および1年次の講義プリントを参考にすること。

【その他の注意事項】

実習は6項目の実習項目を、3班を1グループとして、ローテーションで実施する。6回の実習ですべての項目を終了する。

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	実習説明・実習項目講義	実習に対する心構え、実習項目の講義、試験
2	I 神経の興奮伝導(カエル坐骨神経)	1グループのローテーションを示す。グループによって、ローテーション項目は実習書を参照のこと。
3	II カエル筋収縮	
4	III ヒト誘発筋電図と伝導速度、	
5	IV ヒトの血圧と心拍数測定	
6	V ヒト心電図測定	
7	VI ヒト肺機能測定	
8	試験・実習予備日	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		